

白山国立公園

指 定 書

及 び

公 園 計 画 書

(環境省案)

平成 年 月 日

環 境 省

白山国立公園

指 定 書

(公園区域の一部変更)

目 次

1	変更理由	5
2	公園区域	8
(1)	公園区域の変更	8

1 変更理由

白山国立公園は、富山県、石川県、福井県及び岐阜県の県境に位置し、白山を主峰とする南北約40km、東西約30km、標高は約300m～2,700mにわたる山岳公園である。主峰と周辺の火山湖からなる優美な火山景観、山麓から山頂にかけて暖帯から亜寒帯に及ぶ植生の垂直分布が見られる。また、高山植物の宝庫として知られ、白山にちなんだ名前の高山植物が多数ある。山腹はブナ林が優占し、谷沿いのトチノキやサワグルミの林とともに大型哺乳類、大型猛禽類の生息地となっており、景観、動植物の生息生育の状況はいずれも原生の状態を保っている。

本公園は、昭和37年11月に指定され、昭和53年3月に公園区域及び公園計画の全般的な見直し（再検討）を行い、その後、昭和61年9月に第1次点検、平成7年12月にみどりのダイヤモンド計画に伴う公園計画の一部変更、平成21年10月に第2次点検を行い現在に至っている。

平成20年には生物多様性基本法が制定され、平成21年には自然公園法の改正においてその目的規定に生物の多様性の確保に寄与することが位置づけられた。また、生物多様性国家戦略2010では、「国立・国定公園の全国的な指定の見直し、再配置を進める中で、生態系ネットワークについても考慮した指定の拡大を図る」とされており、平成22年10月に公表した「国立・国定公園総点検事業」において、白山は、自然性の高いまとまりのある森林が山頂部から山麓部にかけて分布し、哺乳類、鳥類等の野生動物の生息地として評価され、重要地域の一つとして選定された。これを踏まえ、更なる調査・分析等を行った結果、隣接する県立自然公園区域は、現在の国立公園の区域と同等の資質を有し、一体性のある地域が生態系の観点から重要な地域として確認されたことから、今回、白山国立公園の区域の見直しを行うものである。

白山国立公園に隣接する地域のうち、九頭竜川に合流する滝波川の最上流部に、標高約1,300m～1,700mの稜線に囲まれた地域があり、これが今回拡張する小原地区である。

植生は、チシマザサーブナ群集が優占する日本海型ブナ自然林が分布している。特に、大長山及び鳥岳の南西側は原生の状態が保たれている。また、小原峠から西に下る凹地の底部にある湿地には、福井県下で最大規模のリュウキンカ群落が見られる。その他は、オオバクロモジーミズナラ群集の二次林及びスギの植林地が点在する。動物相は、鳥類について、6目19科41種が確認されており、春から秋にかけてカラ類の個体数密度が高く、また、クロジとマミジロの生息が確認されていることが特徴である。大型猛禽類のイヌワシやクマタカも確認されている。哺乳類については、ツキノワグマ、イノシシ、ニホンリス、ムササビ等8目14科20種が確認さ

れており、環境省及び福井県のレッドリストで準絶滅危惧種に指定されているヤマネ及びホンドオコジョも確認されている。歴史文化資源としては、白山へ登拝するための越前禅定道が古くから開かれ、遺構が数多く残されている。なお、小原地区は年間約4,000人の登山者が利用する他、麓の小原集落によって林業、炭焼き等が行われ、里山的な利用がなされている地区である。

以上から、優れた自然の風致を有する自然林の保全、隣接する公園区域と一体となる風致の保全、越前禅定道の歴史文化と一体となった風致の保全を目的に当該地区を白山国立公園の公園区域に編入するため、一部変更を行うものである。

2 公園区域

(1) 公園区域の変更

白山国立公園の区域の一部を、次のとおり変更する。

(表1：公園区域変更表)

番号	区分	変更部分の区域
1	拡張	福井県勝山市 北谷町の一部

変更理由	面積 (ha)						
本地区は、取立山、大長山、赤兎山、法恩寺山等の標高約1,300m～約1,700mの山に囲まれており、九頭竜川に合流する滻波川の最上流部に当たる。原生の状態が保たれた日本海型ブナ自然林及び福井県下で最大規模のリュウキンカ群落が見られる湿地が存在し、イヌワシ及びクマタカといった大型猛禽類、環境省及び福井県のレッドリストで準絶滅危惧種に指定されているヤマネ及びホンドオコジョ並びにその他の大型哺乳類が確認されているなど既存の公園区域と同等の資質を持つことから、優れた自然の風致を有する自然林の保全及び隣接する公園区域と一体となる風致の保全を図るとともに、越前禅定道の歴史文化と一体となった風致の保全及び適正な利用を図るため、公園区域に編入する。	<p>2,200ha</p> <table> <tr> <td>国</td><td>0ha</td></tr> <tr> <td>公</td><td>0ha</td></tr> <tr> <td>私</td><td>2,200ha</td></tr> </table>	国	0ha	公	0ha	私	2,200ha
国	0ha						
公	0ha						
私	2,200ha						
変更部分面積計	<p>2,200ha</p> <table> <tr> <td>国</td><td>0ha</td></tr> <tr> <td>公</td><td>0ha</td></tr> <tr> <td>私</td><td>2,200ha</td></tr> </table>	国	0ha	公	0ha	私	2,200ha
国	0ha						
公	0ha						
私	2,200ha						
変更前公園面積	<p>47,700ha</p> <table> <tr> <td>国</td><td>31,884ha</td></tr> <tr> <td>公</td><td>5,071ha</td></tr> <tr> <td>私</td><td>10,745ha</td></tr> </table>	国	31,884ha	公	5,071ha	私	10,745ha
国	31,884ha						
公	5,071ha						
私	10,745ha						
変更後公園面積	<p>49,900ha</p> <table> <tr> <td>国</td><td>31,884ha</td></tr> <tr> <td>公</td><td>5,071ha</td></tr> <tr> <td>私</td><td>12,945ha</td></tr> </table>	国	31,884ha	公	5,071ha	私	12,945ha
国	31,884ha						
公	5,071ha						
私	12,945ha						

